



2020~21年度 D-2700 No. 31 2021年4月30日

小倉ロータリークラブ 週報

R I テーマ：“ロータリーは機会の扉を開く”

R I 会長：ホルガー・クナーク 氏
(所属：ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルンRC)

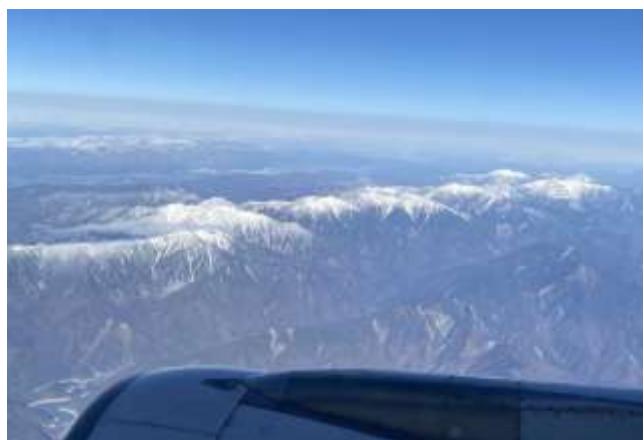
地区テーマ：“日本のロータリー100周年

「新しいロータリーは機会の扉を開く」

地区ガバナー：古賀 英次氏(所属：柳川RC)

クラブテーマ：“OPEN THE DOOR TO CHANCE”

会長 松永 浩 / 幹事 豊川 智彰



表紙写真(テーマ/南アルプス)

機内から南アルプスを撮影しました。この日はお天気が良く、羽田を離陸後、コロナ禍にあっても移動しなければならない皆様のストレスを少しでも解放していただければと、機長が機転を利かせて管制塔の許可を取って少し左右にパンクして、富士山と南アルプスの遊覧を行い、北九州空港に向かいました。もちろん定時に北九州空港に到着しています。

【撮影：宮島 俊司 会員／令和2年12月18日／山梨県と静岡県の県境上空にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：宮島 俊司 副委員長：城 健一郎

委員：篠原 烈、大川 雅弘、甲木 正子

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会 第3472回

- ロータリーソング “四つのテスト”
- 会員卓話

(株)電通九州 北九州支社長
久保田 彰 氏

第3471回 例会 記録

4月16日(金) 普通例会

- ロータリーソング “我等の生業”
- 卓話
NPO法人 フードバンク北九州ライフアゲイン
理事長 原田 昌樹 氏

会長の時間

松永 浩 会長

本日の卓話は今年度内が日本のロータリークラブ100周年を祝う年度ですので記念卓話としてNPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン理事長原田様に「待ったなしの子どもの未来～企業にできること、私にできること～」について後ほど卓話をいただきます。先ずは日本初、東京RC誕生について改めて、お話をさせてい

ただきます。1918年、米山梅吉は財政調査団に加わって渡米。ダラスRC会員の福島喜三次に会い、初めてロータリー運動に接し、大いに心を動かされます。帰国後、米山梅吉は2年余、ロータリー精神と組織の研究に努めました。当時の日本は大正時代、1918年スペイン風邪と呼ばれたA型インフルエンザは米国や欧州で感染が広がり、全世界に拡大。日本でも猛威を振るい、全人口の半数近い約2380万人が感染し、死者数は約38万8千人になりました。また、日本は第一次大戦に連合国側として参戦した後、一時的な景気に沸いたものの、戦後は恐慌に襲われます。1923年には死者が10万人を超えた関東大震災が起こります。当時、このようにロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではありませんでしたが米山の熱意は少しも衰えず、1920年10月20日、有志14名を集めて初めての総会を開催しました。総会では初代会長に米山梅吉、幹事に福島喜三次を選出。国際ロータリーのシカゴ本部に加盟申込書を送り、翌年4月承認されました。今年度、東京RC100周年スローガンは「原点に立つと未来が見える PARTICIPATE！」です。ポール・ハリスがRCを設立した原点に返り、その設立精神を基軸に現状、世情と照らし合わせ、るべきロータリアンの姿を見直し、次なる100年を見据えるという観点から、このスローガンが作られたよう

す。「PARTICIPATE！」は日本語で「参加し敢行しよう！」という意味です。「クラブ活動に参加し敢行することは、奉仕活動を増進する鍵であり、我々がクラブ活動に参加し敢行する時のみに、その効果を十二分に發揮することができます。自らそれを体験なさる様にお勧めします。」と言っています。小倉 RC も節目となる「70周年」を昨年迎え、新たなる一歩を踏みだしました。この度、日本のロータリークラブ 100 周年をさらなる一つの大きな節目とし、次なる 100 年を見据えたいと思います。

幹事報告

豊川 幹事

- ・来週は休会ですので、例会はありません。
- ・4月 25 日(日)に開催される地区大会のパンフレットが届きましたので、本日皆様に配布しています。地区大会の模様は youtube でライブ配信されますので、現地へ行かれの方は youtube をご覧ください。また、後日 DVD も配布されます。
- ・若松 RC より IM 記念冊子が届きましたので、本日配布しています。

副幹事報告

佐竹 副幹事

・本日、例会終了後に、この会場におきまして、次年度の役員及び各委員会の委員長・副委員長による会議を開催いたします。この会議は、次年度が始まる前に、柏会長の思いや各委員会に対するお願ひをお伝えして、活動の参考としていただくためのものです。関係の皆様には、既にご案内をいたしておりますので、ご出席のほどよろしくお願ひいたします。なお、本日の会議の資料(①「2021~2022 年度のテーマ」これは RI 会長・第 2700 地区ガバナー・小倉 RC それぞれの年間テーマをまとめたもの、②「各委員会に対して」これは柏会長より各委員会に対するお願ひ事項をまとめたもの)は、クラブ全体に関わることですので、全員の BOX に入れております。

出席報告

大曾根 委員長

2020 年 7 月 1 日 : 59 名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ
当日の出席	63 名	40 名	—
先週の出席	63 名	44 名	19 名

◆ゲスト 1 名 (卓話者)

◆ビジター 0 名

委員会報告

親睦活動委員会

渡辺 委員

春秋会ゴルフコンペのご案内です。先ほど受付の方

でも少しお声掛けさせていただきましたけれども、2021 年 6 月 26 日(土)に春秋会ゴルフコンペを開催いたします。小倉カントリー倶楽部で 5 組予約をしています。IN、OUT の同時スタートを予定しておりましたが、1 組増えましたので、IN が 3 組で OUT が 2 組という形でスタートさせていただきます。是非多くのご参加をよろしくお願ひいたします。

社会奉仕委員会

二村 委員長

明日、4 月 17 日(土)は早朝清掃を行います。朝の 6 時に小倉駅前南口、1 階モノレール側にお集まりください。時間は 30 分程度です。また、各自で軍手をご持参ください。なお、車でお越しの方は、ステーションホテルの地下駐車場が開放されていますので、そちらにお停め下さい。

ニコニコ献金

坪根 副 SAA

4,000 円 : 今年度累計金額 336,500 円

辰巳 和正 君

- 丘みどりさんのインタビュー記事が読売新聞に載りました。
- 丘みどりさんの記事が赤旗日曜版にも載りました。
- 丘みどりさんの歌う『六甲おろし』のパワーで、阪神は 5 連勝して首位を固めました。

上野 禮一 君

約 1 年間悩まされてきた親指の腱鞘炎手術に思い切って踏み切り、無事成功しました。その際、PCR 検査が義務付けられており陰性の判定を得ました。

卓 話

NPO 法人 フードバンク北九州ライフアゲイン

理事長 原田 昌樹 氏

『待ったなしの子どもの未来

～企業にできること、私にできること～



「地球の限界 (プラネットリ・バウンダリー)」により、地球システムの限界が明らかにされてきました。これは、地球システムに影響のある項目を 9 つに区分し、人間が安全に活動できる境界を科学的に定めています。この境界を超えると、人間が依存する自然資源に対して、とりかえしのつかない変化が引き起こされるというものです。すでに、気候変動や生物多様性などは、境界を越えていると言われています。その危機的な状況を開拓するために国連が加盟 193 か国に対して、2030 年までに達成するよう掲げた目標が SDGs です。

地球規模で環境や福祉が危ぶまれている今、この国のこの町で生活している私たちは何をすべきなのかを

問い合わせながら支援が必要な方々と向き合ってきました。そのような中で見えてきたさまざまな課題の根っことして、一つは生まれながらにして孤立・貧困・障がい等の社会的ハンデが絡み合っていること。もう一つは幼少期に家庭が機能せず、愛情に飢えたまま大人になってしまったということでした。私自身、支援を長年続けた結果、大人になってこの心の空洞を埋め、生き方を変えていくことはとても難しく、できるだけ若い頃、子どもの頃、幼少期の頃により多くの愛情を誰かが注いであげることが、回復の近道であることを実感しました。それらの実体験が、ライフアゲインの活動方針を決めていく根底にあります。

また、要支援者と共同生活に近い生活をする中で、近隣のスーパーからご厚意でロス食品をいただくようになり、「食べ物のいのちと人のいのちはつながっている」と実感しました。そして食品ロスの現状と子どもの貧困という二つの社会課題を結び、改善に貢献できるフードバンク活動と出会って福岡県で唯一のフードバンク団体として2013年から活動を開始しました。

現在、子どもの貧困を含めた負の連鎖を断ち切るためのファミリーサポート事業を加え、食料支援を軸としたさまざまな活動（継続的な食料支援、相談活動、子ども食堂、学習支援など）を行っています。しかし、それらの支援だけでは貧困を含めた子どもの負の連鎖は断ち切れません。環境や福祉の問題が個別にあるのではなく、それぞれの課題がつながっていることを認識し、分野を越えた連携がなされ、産官学民すべてが一体となって行動を起こさなければならないと感じて、そのための連携ネットワークの構築《子ども未来笑顔プロジェクト》に取り組んでいます。



日本のロータリー100周年事業として、小倉RCからNPO法人 フードバンク北九州ライフアゲイン様へ10万円を寄付しました。

小倉駅前早朝清掃 報告

日 時：4月17日（土）6時～

参加者：鈴木名誉会員、松永、伊井、大川、大曾根、甲木、小島、佐竹、篠原、城、杣、田中（幸）、二村、宮島、村上、柚須、雲田（JR）
小倉工業高等学校 IAC 顧問、生徒



恒例の小倉駅前清掃活動を行いました。4月ではありましたがまだ寒さが残る中、小倉工業高校 IAC の生徒の皆さんと一緒に清掃活動が出来、嬉しく思いました。朝早くから小倉駅周辺を清掃するという事は非常に気持ちの良いものであり、私自身のテンションも上がりまし。今後季節も良くなりますので、お時間のある方は是非ご参加ください。皆様お疲れ様でした。

【報告者：篠原】



米山記念奨学会「特別寄付金」



例会当日寄付者

- ・合馬 誠一
- ・小島 康匡
- ・八尋 重治

合計

2020～21年度累計金額

18,000 円

552,000 円

次回例会予告

5月16日(日) 奉仕例会

- ・清掃登山 於：門司港駅～風師山

5月21日(金) 普通例会

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700のマーチ”
- ・青少年関係の卓話

第2700地区青少年奉仕委員長

岡本 勇治 氏